



2021年12月9日

各 位

会 社 名 株式会社タカショー  
代表者名 代表取締役社長 高岡 伸夫  
(コード番号：7590)  
問合せ先 常務執行役員  
経営管理本部副本部長 井上 淳  
(電話：073-482-4128)

## (訂正) 「2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部 訂正に関するお知らせ

2021年11月25日に発表いたしました「2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、一部訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。訂正箇所には下線  を付して表示しております。なお、経営成績・財務諸表の数値情報に関する訂正はございません。

### 記

#### 1. 訂正の理由

「2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、記載内容に不備がありましたので、これを訂正します。

#### 2. 訂正箇所

「2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料2ページ

##### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

#### 3. 訂正内容

##### 【訂正前】

##### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(省略)

国内の売上高につきまして、主力であるプロユース部門では家と庭をつなぐ中間領域である「5th Room」(五番目の部屋)のコンセプトに基づく基軸商品の「ホームヤードルーフ」とその周辺アイテムの売上拡大と新築外構工事におけるファサードエクステリアのデザイン性向上のための様々な顧客サポートを行ったことにより、売上高は前年同四半期と比べ8.5%増加いたしました。

ホームユース部門においては、ライフスタイルの変化に伴うガーデニング需要が高まっているものの、8月の異常気象による長雨の影響を受け、販売先である量販店・e-コマースにおけるガーデニング用品の売上減少により前年同四半期と比べ0.6%減少いたしました。品質向上、主力顧客との売り場や商品の見直し、ARを使った「メタバホーム」なども取り込んだ売り場の改善を行ったことで当社のシェア率は高まってきました。

成長している海外の販売においては、QVCやコストコ、ホームデポを始めとする世界の有力店との取引も本格化されるなか、e-コマースにおいてはアマゾンや自社サイトにおいてドロップシップ方式による販売活動の強化を図りました。海外においても健康的で持続可能なライフスタイルが望まれるなか、ガーデニングの需要が持続し、特にe-コマースにおけるガーデニング用品の売上が伸長したことで前年同四半期と比べ136.2%増加いたしました。

(省略)

#### 【訂正後】

##### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

###### (1) 経営成績に関する説明

(省略)

国内の売上高につきまして、主力であるプロユース部門では家と庭をつなぐ中間領域である「5th Room」(五番目の部屋)のコンセプトに基づく基軸商品の「ホームヤードルーフ」とその周辺アイテムの売上拡大と新築外構工事におけるファサードエクステリアのデザイン性向上のための様々な顧客サポートを行ったことにより、売上高は前年同四半期と比べ10.1%増加いたしました。

ホームユース部門においては、ライフスタイルの変化に伴うガーデニング需要が高まっているものの、8月の異常気象による長雨の影響を受け、販売先である量販店・e-コマースにおけるガーデニング用品の売上減少により前年同四半期と比べ2.6%増加いたしました。品質向上、主力顧客との売り場や商品の見直し、ARを使った「メタバホーム」なども取り込んだ売り場の改善を行ったことで当社のシェア率は高まってきました。

成長している海外の販売においては、QVCやコストコ、ホームデポを始めとする世界の有力店との取引も本格化されるなか、e-コマースにおいてはアマゾンや自社サイトにおいてドロップシップ方式による販売活動の強化を図りました。海外においても健康的で持続可能なライフスタイルが望まれるなか、ガーデニングの需要が持続し、特にe-コマースにおけるガーデニング用品の売上が伸長したことで前年同四半期と比べ63.3%増加いたしました。

(省略)

以 上